

Ⅲ. 経営方針

1. 会社の経営の基本方針

当社グループは、以下の経営理念の下、「LEAD THE VALUE」をコーポレートスローガンとし、「先進性」「スピード」「提案・解決力」の極大化により「最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループ」を目指してまいります。

- お客さまに、より一層価値あるサービスを提供し、お客さまと共に発展する。
- 事業の発展を通じて、株主価値の永続的な増大を図る。
- 勤勉で意欲的な社員が、思う存分にその能力を発揮できる職場を作る。

2. 目標とする経営指標

当社グループは、新たな経営体制の下、平成23年度から25年度までの3年間を計画期間とする中期経営計画を策定いたしました。今回の中期経営計画では、経営目標として、

- 戦略事業領域におけるトップクオリティの実現
- 新たな規制・競争環境に対応した財務体質の実現

の2点を掲げると共に、財務目標としては、「健全性」、「収益性」、「成長性」のバランスの取れた安定的な向上を図るという考え方にに基づき、

- グローバル金融グループに相応しいコア Tier I 比率（「健全性」）
- アセットクオリティを高め、リスク・リターンのもたせる向上を実現（「収益性」）
- グローバル金融グループの中でトップレベルの効率性を追求（「収益性」）
- アジアを中心とする海外の成長を捕捉し、海外収益力を増強（「成長性」）

の4点を掲げております。

中期経営計画の数値目標

平成25年度 (2013年度) 目標値	健全性	コアTier I 比率 ^{※1}	8%程度
	収益性 ^{※2}	連結当期純利益RORA	0.8%程度
		連結経費率 単体経費率	50%台前半 40%台後半
	成長性	海外収益比率 ^{※3}	30%程度

※1 SMFG連結ベースのバーゼルⅢ規制完全実施時の定義（控除項目を全て控除）での算出。

※2 連結は当社連結ベース、単体は株式会社三井住友銀行単体ベース。

※3 内部管理ベース。

3. 中長期的な会社の経営戦略

わが国で平成23年3月に発生した東日本大震災による日本経済への広範な影響だけでなく、欧米等先進諸国の財政問題、新興国を始めとするインフレ懸念の高まり、中東を中心とした政治の混乱、グローバル金融規制の強化等を受け、日本及び世界経済の動向や金融・商品等のマーケットは見通し難く、当社グループを取り巻く環境は、従来以上に、不透明、不確実、不安定な状況にあります。しかしながら、当社グループは、本邦を代表する金融グループとして、お客さまへの円滑な資金供給や決済手段の確保など、金融システムの要としての社会的使命を真摯に果たすことで、日本の復興を金融面から力強く支え、日本の経済的地位の維持発展に尽力してまいります。

また、日本をマザーマーケットとする金融グループとして、日本のお客さまの金融ニーズにしっかりとお応えするためにも、戦略事業領域にフォーカスし、新たな規制等に対応しつつ、グローバルにも競争力を有する事業基盤及び企業基盤の確立を目指してまいります。

外部環境は不透明、不確実、不安定な状況ではありますが、経営目標と財務目標を堅持しつつ、実際の戦略施策運営にあたっては、常に一步先を読み、機動的な対応を図り、確固たる事業基盤及び企業基盤の確立を通じて株主価値の増大に努め、グローバルにもトップティアの金融グループを目指してまいります。

4. 会社の対処すべき課題

当社グループは、経営上重要な5つの戦略事業領域を選定し、強化するとともに、業務戦略を支える確固たる企業基盤を確立してまいります。

(1) 5つの戦略事業領域

①個人向け金融コンサルティングビジネス

お客さまの拡大する資産運用ニーズにお応えするため、株式会社三井住友銀行、SMBC 日興証券株式会社、SMBC フレンド証券株式会社における総勢 5,000 人規模のコンサルタントのスキルを更に強化するとともに、各社間の人材交流や業務協働を進めてまいります。また、株式会社三井住友銀行における法人ビジネスと個人ビジネスの一体運営の強化を通じ、グループ全体で個人のお客さまの預り資産を増強してまいります。

②法人向けトータルソリューションビジネス

グローバル化の更なる進展や資金調達方法の多様化等のお客さまの経営課題にお応えするため、株式会社三井住友銀行と SMBC 日興証券株式会社の協働等を通じ、銀行業務と証券業務のバランスの取れたソリューション提供体制を構築するとともに、中国大陸、香港、台湾を含む経済圏における日系企業のお客さまとの取引について国内外拠点を一体運営することなどにより、ソリューション提供力を更に強化してまいります。

③アジアを含む新興国における商業銀行業務

経済のグローバル化が進展する中、国内のお客さまの海外進出サポートに加え、株式会社三井住友銀行における、経済成長が著しいアジアを中心とする新興国のお客さまへの取組みを強化するための専門部署の設置やネットワークの拡充等を通じ、アジアを中心とする新興国におけるトップクオリティの商業銀行業務の実現に向けた事業基盤を確立してまいります。このようにして、平成 25 年度に、アジアの収益を平成 22 年度対比 1.5 倍、海外収益比率を 30%程度に引き上げてまいります。

④証券・投資銀行業務

法人のお客さまのグローバルな事業展開が益々加速し、投資家の裾野がボーダレスに広がる中、お客さまの多様なファイナンスニーズにお応えするため、当社グループの証券業務の中核を担う SMBC 日興証券株式会社の海外拠点人員の増強、グローバルオファリングやクロスボーダーM&A等の体制整備を通じ、機能を強化してまいります。

⑤非アセットビジネス（決済・アセットマネジメント等）

リスク・リターンの更なる向上を目指し、非アセットビジネスとして、決済・アセットマネジメントビジネスを強化してまいります。具体的には、預金、決済・為替等の決済関連ニーズにお応えするための体制を整備するとともに、グループ内のアセットマネジメント会社や海外アセットマネジメント会社等とのアライアンスを強化してまいります。

(2) 業務戦略を支える確固たる企業基盤の確立

当社グループの業務運営がグループベース、グローバルベースに広がりを見せる中、リスク管理やコンプライアンス等、グループベースでの経営管理の高度化や、グローバル人材の育成、グローバルベースでの与信運営体制強化等の体制整備に取り組み、確固たる企業基盤を確立してまいります。

当社グループは、これらの取組みにおいて着実な成果を示すことにより、お客さま、株主・市場、社会からのご評価を更に高めてまいりたいと考えております。